

～通知簿の見方～

中学生のみなさん、1学期間よくがんばりましたね。今回は成績の見方についてです。成績は、高い・低いではなく、自分自身の成長をみることができる大事な機会です。自分自身の学習への取り組み方を振り返って、2学期の学習に対してどんな目標を持つのか、前向きなリフレクションをして夏休みを迎えましょう！！

各教科 A・B・C・D の 4 観点（学際は 3 観点）で評価されています。各観点は 8 点満点です。

各教科は 1 年間の中で、4 観点すべてが 2 回以上評価されています。（学際単元は除きます）

【例】

A	B	C	D
3	5	4	7



『表 1』をみると、各教科で ABCD が何の評価を示しているのかが分かります。

この例の場合、評点は 3 + 5 + 4 + 7 = 19 点です。『表 2』を見ると、MYP の評定は 5、文部科学省の評定は 4 となります。

『表 1』

	A	B	C	D
国語	分析	構成	創作	言語の使用
英語	リスニング	リーディング	スピーキング	ライティング
社会	知識と理解	調査探究	コミュニケーション	批判的思考
理科	知識と理解	探究とデザイン	手法と評価	科学的影響の振り返り
数学	知識と理解	パターンの探究	コミュニケーション	実生活への応用
音楽・美術	調査	発展	創作・実演	評価
保健体育	知識と理解	活動の計画	応用と実践	活動の振り返りと改善
家庭科	探究と分析	アイデアの発展	課題解決	評価
コミュニティプロジェクト	調査探究	計画	行動	振り返り
学際単元	評価	統合	振り返り	

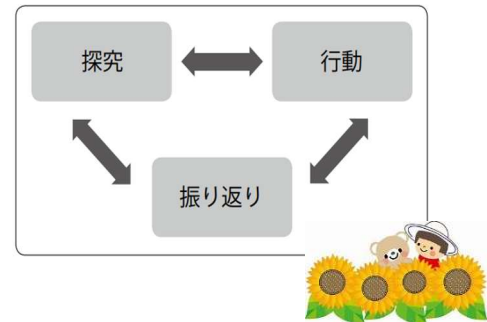
『表 2』

評点 (年度末)	1～5	6～9	10～14	15～18	19～23	24～27	28～32
評定	1	2	3	4	5	6	7
MYP	成果物の質が非常に低い。	成果物の質が低い。	成果物の質が許容範囲である。	成果物の質が良い。	成果物の質が高い。	成果物が時に革新的。	成果物がしばしば革新的。
評定	1	2	3	4	5		
国	一層努力を要する。	努力を要する。	概ね満足できる。	十分満足できる。		十分満足できるもののうち、特に程度が高い。	

課題返却について

IBの学習では、振り返りをする事は学習サイクルの3つの中の1つです。

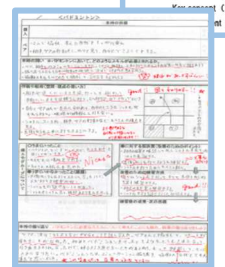
「行動」「探究」「振り返り」のサイクルの中で振り返りをする事は、学習を効率的に管理し、評価するのに役立つ様々なスキルや資質を発達させます。1学期の総括的評価課題に対して、皆さんはどのような振り返りをしますか？もっと課題を頑張れた、勉強するべきだったと振り返ることと同様に、頑張ったところを自分で認めることも大事です。批判的に分析的に自分の学習を振り返ることで、皆さんの学習経験をより深い理解につなげることができます！



J1 体育 重要概念：発展 関連概念：空間・視点・動き

中学1年生の皆さんは、体育の授業でバドミントンを教材に探究をしてくださいました。中学に入学し、新しい環境の中での、IBの学びは新鮮だったと思います。授業の中では実際にプレーするだけでなく、ブックレットを使用して自分たちのプレーについて常に振り返ってもらいました。授業では、大人も気づかない視点で、クラスやプレーのことを気遣う姿が見られました。次に、皆さんの振り返りを紹介します。「学びが深まると、コート内の空間や視点を見れば上手にプレーできるということが理解できました。」「ペアと対戦相手がいてバドミントンは成り立っていると気づいた。学校生活も友達と一緒に楽しく学習していきたいと思った。」「空間・視点・スキルを身につけられて、今はお互いを思いやる空間を大事にしてプレーできている。いろいろな視点で考えるということの大切さがわかりました。」

皆さんが体育の授業の中に、道徳の時間のような気づきを得たことに感心します。これからも自分たちの力で、学校生活を上げてください。期待しています！



J2 デザイン（家庭科）重要概念：システム 関連概念：協働



2年生のデザインの授業の中では、「暮らしを守るシステム」というタイトルで、防災について考えてくださいました。IBの授業では、単に事象を覚えるだけでなく自分ごとにつなげて表現するところに授業の特徴があります。授業の課題レポート

では、1年生に校内での災害対策を伝えるために、デザインブリーフを作成しました。その後、合同授業で後輩たちへ災害対策を発表してくれましたね。先輩として後輩に、必要で大事な情報をしっかりと伝えようとする皆さんの真摯な姿が授業内で見られました。さすがは、IBの先輩ですね！



J3 言語と文学（国語）重要概念：文化 関連概念：視点・テキストの関連性

国語の授業ではオーストラリア研修旅行への準備の一環として、「テキストを読み解くことによって、文化に対するグローバルな視点を養うことができる」というテーマで探究をしました。ユニットの終わりでは、オーストラリアと日本の文化の違いを後輩に紹介するかるた風カードを創作しました。皆さんの作品を見ていると、様々な視点を持って対象を理解しようとしていることが伝わってきます。そこに皆さんの個性があり、違いがみられます。皆さんの個性が合わさったかるたは、違いがあるからこそ一つの作品は出来上がり、メッセージがより力強くなる、という当たり前のことを思い出させてくれました。この作品は文化祭で展示する予定です。全校の皆さんにも、この研修旅行の楽しさがきっと伝わることでしょ！



保護者の皆様へ いつも本校の教育にご支援を賜りありがとうございます。生徒の皆さんは、1学期の課題に対して力いっぱい取り組んでくれました！人と比べるのではなく、お子様の1学期の取り組みと一緒に振り返り、頑張った取り組みに対しては、惜しみない拍手を送っていただけたらと思います。さて、夏休みは長いようで短いものです。中学生の多感な時期の夏休みに、お子様にはゲームやスマホばかりではなく、ご家庭でしかできない体験をぜひ一緒にしていただけたらと思います。ご家族の方とお子様とで新しい世界が始まるような、探究の芽を一緒に育むことができれば素敵ですね。暑い中ですが、どうぞ皆様お身体にご自愛ください。2学期もどうぞよろしくお願いいたします！

